

令和3年第1回日高市議会定例会 開会の挨拶

議長のお許しをいただきまして、ご挨拶と行政報告を申し上げます。

本日、令和3年第1回日高市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、ご健勝にてお集まりいただき、市の重要案件につきましてご審議を賜りますことは、市の発展のため、誠に喜ばしい限りでございます。

冒頭に、新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表すとともに、現在治療中の皆様の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

また、現在も地域医療を守るため、懸命にご尽力いただいている医療関係者の皆様をはじめ、介護・福祉施設等において活動されている皆様にも心から感謝を申し上げます。

さて、本定例会に付議します案件ですが、令和2年度補正予算3件、令和3年度予算7件、条例の制定改廃7件、市道の路線の認定1件、市道の路線の廃止1件、専決処分の承認を求めることについて1件の合計20件でございます。

これらの議案につきましては、いずれも重要案件でございますので、慎重なるご審議のうえ、ご賛同くださいますよう、お願い申し上げます。

次に、せっかくの機会でございますので、いくつか、ご報告をさせていただきます。

はじめに、「新型コロナウイルス感染症」について、申し上げます。

国は、2月2日に埼玉県を含む10都府県を対象に、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態措置の実施すべき期間を、3月7日まで延長しました。

これを受け、埼玉県においても緊急事態措置等を延長し、現在も不要不急の外出、県境をまたぐ移動の自粛、特に午後8時以降の不要不急の夜間外出自粛などを要請しております。

そうした中、全国の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、減少傾向に

あり、埼玉県においても同様の状況でございます。

市におきましては、昨年の感染者数は、48人でしたが、今年1月に73人、2月にはすでに、70人以上の新規感染者が発生しており、大変厳しい状況にあります。

市民の皆さんにおかれましては、長期にわたり、さまざまなお願いをしておりますが、命と暮らしを守るため、引き続き、感染症防止対策の取組をお願い申し上げます。

次に、「新型コロナウイルスワクチン接種」について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発症を予防するため、ワクチンをできるだけ早期に安心して市民の皆様にご接種していただく必要があります。

このため、市では1月18日に保健相談センター内にワクチン接種推進担当を新設し、国が示す接種の順序に従って少しでも早くワクチン接種ができるよう取り組んでいるところでございます。

現在、国・県からの情報収集や医師会及び医療機関との調整などを行っており、高齢者の方、基礎疾患がある方、一般の方々へと速やかにワクチン接種が実施できるよう、準備を進めております。

また、併せてワクチン接種の予約に対応する「コールセンター」開設の準備も進めております。

今後、詳細が決まり次第、ワクチン接種方法やスケジュールなどの情報を広報や市ホームページ等で順次お知らせしてまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について申し上げます。

国におきまして、都道府県や市町村に交付する地方創生臨時交付金に、約1.5兆円を追加する第3次補正予算が可決されました。

これを受けまして、現在、市におきましても新型コロナウイルス感染症に関する支援策などに係る補正予算の準備を進めているところでございます。

次に、市主催のイベント等の状況について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今後予定しておりました「高麗郷古民家ひなまつり」をはじめ、「日高かわせみマラソン大会」、「巾着田春まつり」及び「にじのパレード」の開催を、残念ながら中止にすることといたしました。

今後も、市主催のイベント等につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実施の可否について検討してまいります。

なお、中止・延期を決定したイベント等につきましては、ホームページ等で速やかに周知してまいります。

次に、「ゼロカーボンシティ共同宣言」について申し上げます。

去る2月15日にダイアプラン・埼玉西部地域まちづくり協議会構成市で「ゼロカーボンシティ共同宣言」を表明いたしました。

近年、地球温暖化の進行による世界的な平均気温上昇について、産業革命以前に比べて1.5度に抑えることが求められており、そのためには2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要とされています。

このことから、健康で安心して暮らすことができる環境を次世代へ引き継いでいくため、今後、5市では3つの柱である、「省エネルギー化の推進」、「再生可能エネルギーの利用・促進」、「森林の整備・保全及びその活用」のほか、各市の特徴を活かしながら、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

次に、「情報通信ネットワーク整備事業、GIGAスクール構想」について申し上げます。

国のGIGAスクール構想に基づき、市内全ての小中学校に1人1台の学習用端末と校内無線LANの環境整備を一体的に進めてまいりましたが、このほど整備が完了いたしました。

これにより、主体的、対話的で、深い学びの視点からの授業改善が図られ、児童生徒の資質、能力がより一層育成できるものと期待しております。

以上で、ご挨拶と行政報告を終わります。

ありがとうございました。